

気管内吸引カテーテルの管理

1.手指衛生後、個人防護具を装着

- ・石鹼と流水またはアルコール製剤を用いて手指衛生を行う。
- ・未滅菌手袋・マスク・エプロン・ゴーグルなど必要に応じて着用する。



2.清潔操作で吸引を行う。

- ・清潔操作で吸引処置を行う。
- ・可能であればカテーテルは単回使用とする。
- ・再利用する場合は必ず正しい管理を行う。



3.吸引後、カテーテルを洗浄する。

- ・消毒用エタノールで、カテーテル外側の痰を除去する。
- ・水道水や精製水を吸引し、内腔の汚れ(有機物)を落とす。
- ・最後にアルコール綿のアルコールを内腔に通すと、乾燥が早い。



4.管理法 1：乾燥させて保管する。

- ・熱湯消毒した瓶や清潔な容器などに保管する。
- ・微生物汚染を予防するため、チューブ内の結露はなくす。



4.管理法 2：消毒液に浸漬保管する。

- ・消毒液に浸漬する。
- ・必ず毎回滅菌水で洗浄するか、アルコール綿で外側を消毒してから再使用する。
- ・浸漬用薬剤は少なくとも24時間以内に交換する。



5.手指衛生を行う。

- ・個人用防護具を外し、石鹼と流水またはアルコール製剤を用いて手指衛生を行う。

